

## 笠間長石の価値高める取り組み

### 【背景】

近年、笠間陶芸大学校では、笠間焼協同組合とともに、地域原料を用いて笠間焼ならではの製品開発を目的とした共同研究を行っています。令和3年度の共同研究により開発した「笠間長石」を新原料として笠間焼産地内で普及させるとともに、その魅力を県内外で発信し笠間焼のブランディングにつなげることを目的として、令和5年度に「笠間長石ブランディング研究会」を立ち上げ、3年にわたり活動してきました。

令和7年2月には、日本橋三越本店（東京都）において、当研究会の会員によるグループ展を開催しました。

### 【内容】

令和7年度は、笠間市内のギャラリーでのグループ展を企画しました。当校は企画・運営の実務や、DM（図1）などの各種印刷物のデザインを担当しました。研究会活動の概要は表1の通りです。

また、笠間長石使用製品の開発支援のほか、令和5年度の笠間焼協同組合との共同研究により取り組んでいる栗灰（栗樹の剪定枝を焼却した灰）の原料利用に関する技術の情報提供、栗灰使用製品の開発支援なども行いました。



図1 DMデザイン



図2 第2回ミーティング風景



図3 写真講座の実習風景

表1 研究会の活動内容

	内容
第1回 R7. 5. 27	グループ展概要の検討
第2回 R7. 9. 11	グループ展詳細の検討（図2）
第3回 R7. 10. 17	写真講座「魅せる写真の撮り方」（図3） 講師：宇津井写真事務所 宇津井志穂
第4回 R8. 3. 12	振り返りミーティング

### 【活動の成果】

下記のグループ展を開催しました。会員18名の多くが、笠間長石または栗灰を用いた新製品をお披露目する場となりました。来場者には地域原料を活かした製品の魅力が伝わり、好評を得ることができました。来年度以降も産地の魅力を高める様々な活動を支援します。

展示会名 KASAMAの色

場所 笠間工芸の丘

会期 令和8年2月11～23日

### 担当

笠間陶芸大学校  
陶芸人材グループ  
窯業技術グループ

常世田 茂、郡司 恋緒菜、  
根本 達志、新島 佐知子、  
尾形 尚子、児玉 弘人、  
吉田 博和

TEL:0296-72-0316